

SB C&S が運営する最新技術の情報発信サイト

「C&S ENGINEER VOICE」

2025年3月の注目記事をピックアップ

～仮想化市場の注目製品やセキュリティの今後、生成 AI 構築技術を徹底解説～

SB C&S 株式会社（以下「SB C&S」）は、事業ビジョン「繋ぐ ～テクノロジーのチカラで、ワクワクする未来へ。～」の下、社会が求める最先端技術を迅速に日本市場へ届けるため、専門性の高い社内 IT エンジニアが最新情報を収集・発信しています。

IT に関する最新技術の情報サイト「C&S ENGINEER VOICE（エンジニアボイス）」は、IT ディストリビューターならではの目線による解説が特長で、AI や仮想化、ストレージ、ネットワーク、セキュリティ、データマネジメントなどの最新の情報を発信しています。今回は、最新記事の中から RAG を活用した生成 AI システム構築時のポイントなど注目記事を 3 つ厳選して紹介します。

C&S ENGINEER VOICE

<https://licensecounter.jp/engineer-voice/>



【HPE からリリースされた仮想化製品「HPE VM Essentials Software」とは】

ハイパーバイザーのパイオニアである vSphere と仮想化市場に新たに登場した Hewlett Packard Enterprise (HPE) のハイパーバイザーである「HPE VM Essentials Software」の比較を簡潔にわかりやすく紹介しています。

HPE の独自ハイパーバイザー VM Essentials Software とは

https://licensecounter.jp/engineer-voice/blog/articles/20250311_hpe_vm_essentials_01.html

【セキュリティエンジニアがセキュリティにまつわる振り返りと今後の展望を徹底解説】

製品や仕様が決まる前段階から商談に同席し、エンドユーザーの幅広い課題に対し最新のテクノロジーを紹介している SB C&S のセキュリティエンジニアが、座談会形式でセキュリティに関する 2024 年の振

り返りと 2025 年の展望について解説しています。

セキュリティエンジニアは見た！2024 年の振り返りと 2025 年のこれから（前編）

https://licensecounter.jp/engineer-voice/blog/articles/20250303_20242025.html

セキュリティエンジニアは見た！2024 年の振り返りと 2025 年のこれから（後編）

https://licensecounter.jp/engineer-voice/blog/articles/20250304_20242025.html

【RAG を活用し生成 AI システムを簡単に構築する「NetApp GenAI Toolkit」を解説】

RAG (Retrieval Augmented Generation) は、生成 AI の検索能力を拡張し、専門性の高いデータや自社内データを活用して独自の回答を生成する技術です。RAG を活用し、生成 AI システムを簡単に作成できる「NetApp GenAI Toolkit」の構築時の条件および気を付けるべきポイントなどを紹介しています。

「NetApp GenAI Toolkit for Azure」による RAG+生成 AI システムの作り方を徹底解説！

[https://licensecounter.jp/engineer-](https://licensecounter.jp/engineer-voice/blog/articles/20250312_netapp_genai_toolkit_for_azureragai.html)

[voice/blog/articles/20250312_netapp_genai_toolkit_for_azureragai.html](https://licensecounter.jp/engineer-voice/blog/articles/20250312_netapp_genai_toolkit_for_azureragai.html)

今後も SB C&S は、IT ディストリビューターとして最新の情報を継続的に発信し、全国約 1 万 3,000 社の販売パートナーとともに企業の DX (デジタルトランスフォーメーション) 推進に貢献していきます。

- SoftBank およびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。
 - その他、この取り組みに記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。
-